

聖泉論叢（聖泉大学紀要）執筆要項

1. 原稿の提出および受理年月日

締切日までにワープロ原稿（A 4版）およびデータファイルを提出する。紀要委員会担当者の受付の日を原稿の受理年月日とする。

2. 使用言語

投稿は日本語および英語を原則とし、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

3. 原稿の書式

原稿（A 4版）は原則横書きとし、邦文原稿は、1ページ当たり、1行34字、28行、欧文原稿は、1ページ当たり、1行76字、28行とする。ただし、編集委員会が認めた場合は、縦書きも可とする。

4. 原稿の枚数

枚数の上限は、執筆要項3に基づく文字数（邦文：34字×28行、欧文：76字×28行）で、図・表を含めた状態で20ページ以内とする。編集上支障がある場合は、投稿者は編集委員会の決定に従う。

5. 表紙

- 1) 表紙には、論文、研究ノート等の種別、表題、著者名、要約または要旨およびキーワードを記載する。邦文原稿には、邦文表題・邦文著者名の他に欧文表題・欧文著者名を、欧文原稿には欧文表題・欧文著者名の他に邦文表題・邦文著者名をそれぞれ付記する。
- 2) 要約は10行以内、キーワードは8語以内を原則とする。

6. 章、節などの見出し

章、節などの見出し区分はポイント・システムを用いるのが望ましい。

第1章 → 1.

第1章, 第2節 → 1.2

7. 数字等の表記

1) 本文中の数字は、原則として、アラビア数字を用い(ただし、概数・化合物の名称・熟語・成句・固有名詞・数の意味が全くないもの等は和数字を用いる)、アラビア数字が2文字以上続く場合は、数字2字で原稿用紙1文字分とする。

2) 句読点はカンマ(,)とマル(。)を用い、符号(、・「」『』()～等)は1文字分とする。

8. 図表

図と表は1枚ずつ別紙に作成し、それぞれに通し番号と表題を付ける。さらに、本文原稿の右余白部に、各図・表の挿入位置がわかるように図・表番号を記入する。原則として、図の表題は図の下に、表の表題は表の上記すものとする。

9. 注

1) 注は、本文の当該箇所の右肩に括弧付きの通し番号を付け、本文末尾に対応する注釈、引用・参考文献などを番号順に列記する。

2) 注の記載については、専門分野により異なるため、それぞれの学会の方式に従ってもよい。

10. 文献

1) 本文の末尾に、文献を引用した順序または著者(编者)名の五十音順、アルファベット順などに従って文献を記載する。

2) 引用・参考文献については、邦文・欧文ともに、図書の場合は、著者

名，書名，出版社名，発行年，引用ページの順に記載し，雑誌論文の場合は，著者名，論文名，雑誌名[巻・号数]，発行年，引用ページの順序に記載する。

- 3) 邦文の場合，書名，雑誌名，新聞名は二重引用符（『』），論文名は一重引用符（「」）で示すものとする。

欧文の場合書名，雑誌名，新聞名はイタリックで，論文名は引用符（“ ”）で示すものとする。

- 4) インターネット資料を引用・参考文献とする場合，少なくともサイトURL，情報取得日を記載する。
- 5) その他，引用・参考文献の記載については科学技術情報流通技術基準に準拠するものとする。
- 6) 引用・参考文献の記載については，専門分野により異なるため，それぞれの学会の方式に従ってもよい。

11. 校正

著者による校正は原則として初校および再校とする。

12. 別刷

投稿の際，必要部数を申し込むものとする。30部を超えて必要な場合は有料とする。

付 則

この要項は，2004年7月作成

付 則

この要項は，2005年12月一部修正

付 則

この要項は，2008年8月5日一部修正

付 則

この要項は，2009年1月8日一部修正